

ARCH

SAISEIKAI NIIGATA KENOH KIKAN HOSPITAL

15

2026.07



就任のご挨拶

地域の医療機関とともに、 地域住民の皆さまをお支えしていく

このたび事務部長を拝命いたしました。身の引き締まる思いとともに、その責任の重さを改めて感じているところです。

就任後、病院長・看護部長とともに地域の医療機関を訪問させていただく中で、当院に寄せられる期待の大きさを強く感じました。「地域の皆さまに、安心して医療を受けていただける病院であり続けること」——それが私たちに課せられた使命だと、改めて心に刻んでいます。

病院は単独で地域医療を支えられるものではありません。他の病院や診療所、介護・福祉施設など、さまざまな医療機関との連携があって、初めて地域医療が成り立つのだと感じています。そのために、地域のさまざまな医療機関と互いに顔の見える関係を築きながら、皆さまの健康と安心を守っていくことが大切だと考えています。

「あの病院があって、よかった」「かかりつけの先生に紹介してもらって安心した」と皆さまに思っていただけるよう、地域の医療機関の皆さまと力を合わせ、住民の皆さまの健康と安心をお支えしてまいります。

当院の事務部門は、その土台となる病院基盤を整える役割を担っています。皆さまが「いざというときに頼れる病院」であり続けるために、医療従事者とともに、責任感を持って業務にあたり、しっかりと支えてまいります。

事務部長
山崎 正憲
YAMAZAKI MASANORI

地域全体の看護の質向上に向けて

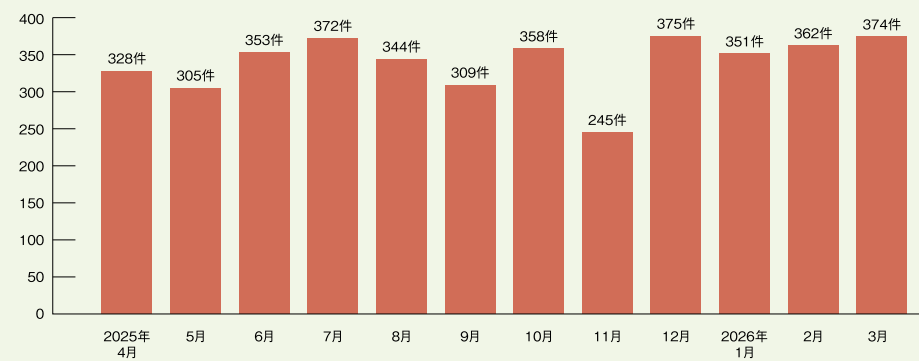
新潟市の済生会新潟病院で5年間看護部長を務め、この4月に当院の看護部長に就任いたしました。当院は開院3年目でありながら、年間約6,000台もの救急車を受け入れてきたというのは、スタッフの努力の賜物だと感じます。そんな尊敬するみなさんと一緒に、これからがんばっていききたいと思います。そして前任の看護部長が積み上げてきたものを引き継ぎ、「施薬救療の精神」という済生会の理念も取り入れながら、看護部を次の段階へ押し上げることが私の役割だと感じています。

現在、全国的に地域の中で、病院の役割分担が進んでいます。県央医療圏も長年の課題であった、救急搬送受け入れ、手術、重症患者さんを診る拠点病院として当院が開院しました。適切な役割分担のもとで、「地域がひとつの病院」のように機能する医療連携体制を創っていく必要があります。そのためには当院で行った看護を、次の病院へ引き継いでいけるようにすること、情報の伝達を良くすることが重要になります。また当院は、特定行為を行える看護師を養成する研修機関にもなっているので、研修を受けた人材が周りの病院と協力し、地域全体で看護の質を上げていくことも看護部の役割と考えています。

患者さんの話を聞き、その人が必要とする看護を提供するためには、自分自身に心のゆとりがなければなりませんので、働く環境も整えていきたいと思います。患者さん一人ひとり、そして地域全体のことを考えられる看護師を育成し、「県央基幹病院があるから大丈夫」と、地域のみなさんが安心して日常生活を送れるように努力していききたいと思います。

看護部長
佐藤 志津子
SATO SHIZUKO

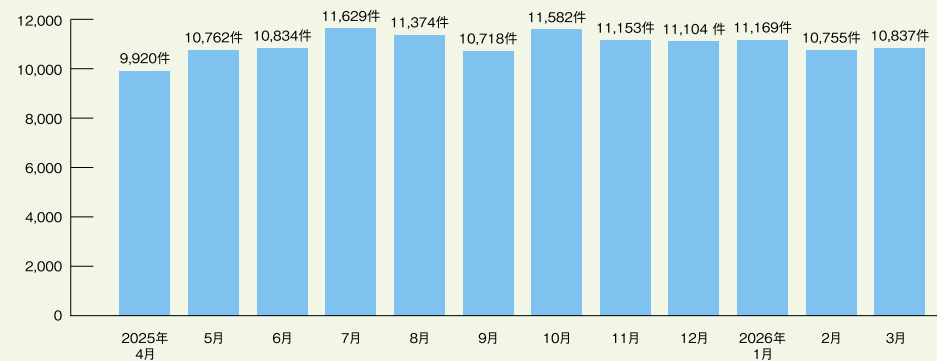
■ 月別手術件数(手術室内で行った手術の件数)



手術件数(累計)

4,076件

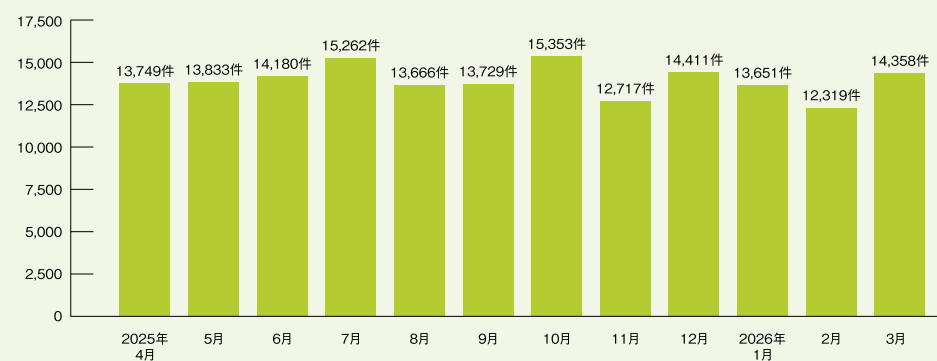
■ 月別入院延べ患者受入件数



入院延べ患者受入件数(累計)

131,837件

■ 月別外来延べ患者受入件数



外来延べ患者受入件数(累計)

167,228件

〈 診療実績について 〉

2026年3月から開院3年目となりました。4月からは、血液内科、耳鼻咽喉・頭頸部外科に常勤医が着任し、専門医療の体制がさらに充実しました。2025年度は手術件数、外来・入院の受入件数はいずれも前年度に比べて約10%増加しており、今後も地域の皆さまに必要とされる専門医療を一層充実させてまいります。

一方で、入院患者さんの約半数は75歳以上の方であり、急性期治療後も継続したリハビリテーションや在宅復帰に向けた準備が必要となる場合があります。その際には、患者さんの状態やご家族のご希望を伺いながら、近隣の医療機関への転院をご相談させていただくことがあります。ご希望に添えない場合もあるかもしれませんが、患者さんおひとりおひとりの状況に寄り添い、丁寧な説明と対応を心がけてまいります。

済生会新潟県央基幹病院1年間の実績

(2025年4月～2026年3月実績)

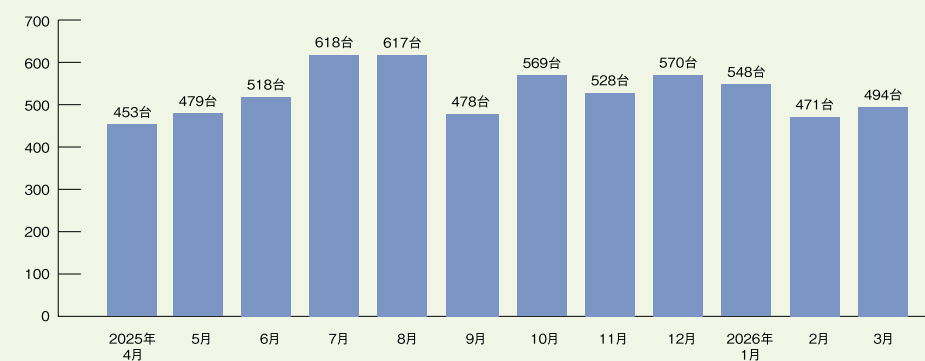
県央基幹病院救急搬送
受入台数

実績

6,343台



■ 月別救急搬送受入台数



救急搬送受入台数(累計)

6,343台

〈 救急対応実績について 〉

当院は県央応急診療所をはじめ、地域内の各病院・医療機関と連携しながら、県央地域全体で救急医療を支える体制づくりに取り組んでまいりました。「県央の患者は県央で診る」ことを使命として、地域の方々が安心して暮らせる医療体制の充実を目指しています。

当院の救急搬送件数は月500件前後で推移しており、2025年度は年間6,343件にのびりました。また、自家用車などで直接来院される方を含めた救急患者数は、10,262人となり、前年度に比べて約5%増加しました。

当院の救急医療では、命に関わる可能性がある方や、緊急性・重症度の高い方を優先して診療しています。そのため、症状や重症度によっては、診察までお待ちいただく場合や、より適切な医療機関をご案内する場合があります。

地域の限られた医療資源の中で、必要な方に必要な救急医療を届けるため、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



病理診断部

石田 穂乃華 ISHIDA HONOKA

●この仕事のやりがいや特徴を教えてください。

検査を通して患者さんの体に起きている変化や異常に「気づく」ことができる点にやりがいを感じます。自分

幼い頃、糖尿病の祖母の世話をしていたことをきっかけに、医療の仕事に興味を持ちました。高校生の頃に父ががんを患った経験から、がん診療に関わる仕事に就きたいという思いが強くなりました。その中で、検査を通して診断に関わる臨床検査技師という仕事、特にがんや腫瘍に関する病理検査に魅力を感じ、この道を選びました。今では臨床検査技師として働き始めて6年目となりますが、これからも当時の思いを大切にしながら仕事をしたいと思っています。

●ご職種の普段の業務について、具体的に教えてください。

臨床検査技師として、主に病理検査業務に携わっています。病変の一部や手術で切除した臓器を薄く切った様々な染色をしています。また、細胞検査士として患者さんの体から採取した細胞を顕微鏡で観察し、がん細胞や異常細胞の有無を調べて医師へ報告しています。その他にも、手術中に行う迅速検査や病理解剖の補助にも携わっています。患者さんと直接接する機会は非常に少ない職種です。

●将来の目指す姿や目標はありますか？

業務を通して知識や経験を重ね、より正確で信頼性の高い検査ができるよう学び続けていきたいです。そのうえで、国際細胞検査士や認定病理検査技師などの資格取得も目指したいです。自部署や他部署・他職種のスタッフと協力しながら、患者さんの診断や治療に貢献できるように取り組んでいきます。



「石田さんのお気に入り」

昨年買い替えた車でドライブに行くことです。
目立つ色なので広い駐車場でもどこに車を停めたか迷わなくなりました。

FAVORITE

済生会新潟県中央基幹病院の各部門について、その役割や日々の業務をご紹介します。

県央TEAMS

眼科（視能訓練士）



【瞳の健康から日常を守る】

視能訓練士は、医師の診断や治療に必要なデータを提供し眼科医療をサポートする専門職です。主な検査業務として、視力検査や眼圧検査、視野検査、目の奥の写真や組織の断面を撮影する画像診断検査などがあります。また当科では白内障、緑内障、網膜疾患など、様々な手術が行われています。そのため、専門的な特殊検査も実施しており、患者さん一人ひとりに最適な治療を提供しています。患者さんの大切な目を守り、日常生活の質の向上に貢献できるように努めています。

眼科は3階Eブロックにあり、かかりつけ医から紹介を受けて来院される方が多くいらつやいます。また、全身と目は影響しあっているため、内科や皮膚科、脳神経内科・外科など他科との連携も重要です。患

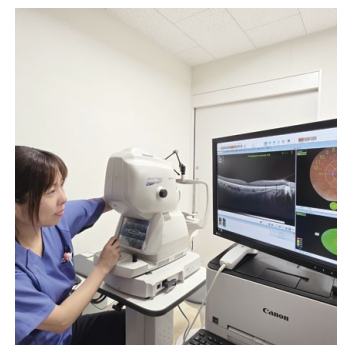
者さんに安心して受診していただけるよう、丁寧な言葉かけ、説明を心がけています。

【セルフチェックも大切です】

緑内障や加齢黄斑変性症などは加齢に伴って増えていきます。両眼で見ていると、視力低下や視野の欠けはだいたひ悪くならないと気が付かないことが多いので、時々片目を隠して周りのモノを見てみましょう。視野欠損や歪みなどがないかチェックします。また、最近ではテレビやスマホなどで目を酷使する機会が増えています。目の表面が乾き、ドライアイやアレルギー症状が引き起こされる場合もあります。乾燥などにも気を付けましょう。

〈地域に向けてメッセージ〉

人間が得る情報の約80%は目から入ると言われています。目は日々の生活を支える大切な存在です。目の不調は、早期発見・早期治療が大切です。少しでも見えにくさや違和感を覚えたらお早めにご相談ください。



今知りたい

Q & A

眼科 Q&A

Q 視力検査の時に、ぼやけていても答えていいですか？

A 視力検査ははっきりではなく、認識できるかを見ているので、ぼんやりでも切れ目が分かれば答えて大丈夫です。

Q 眼底検査とはなんですか？

A 目薬で瞳を広げて、目の奥の状態をくわしく調べる検査です。検査の後しばらくまぶしくなったり、見えにくくなったりすることがあるので、注意が必要です。



登録医のご紹介



医療法人 佐藤内科小児科医院（燕市）

〈院長〉佐藤 直明 様



●まず、御クリニックについて教えてください。

佐藤内科小児科医院は1970年に旧分水町で開業し、私の父が内科、母が小児科の診療を行っていました。2001年7月の現在地への新築移転を機に、私（内科）と妻（小児科）が診療に加わりました。二人とも新潟大学医学部の出身で、私は血液内科医として新潟市内の病院に、妻は小児科医として大学病院や県立吉田病院で勤務していました。現在は私と妻の二人で診療しています。

●日々の診療で心がけていること、大切にしていることはありますか？

内科・小児科ともに「どなたでも、どんな症状でもまず良く話を聴いて、診る」を信条にしています。患者さんの不安や悩みに丁寧に耳を傾け、安心して相談できる雰囲気づくりをスタッフ一同で心がけています。診察や検査のあとは、病状、治療目的、治療の見通しなどについて、納得いただけるよう分かりやすく説明することが大切と思っています。

●日々の生活の中で、気を付けた方がよい症状はありますか？

当院には、赤ちゃんから高齢者まで幅広い年代の方が来院されます。内科では風邪や発熱、腹痛などの急性疾患から、生活習慣病をはじめとする慢性疾患、アレルギー疾患、睡眠時無呼吸症候群、皮膚のトラブル、不眠症など総合的に対応しています。通院が困難な患者さんに対しては、往診や訪問診療を実施しています。また小児科では一般診療や健診、予防接種に加え、子どもの発達や、不登校など、子どもの心に関する診療も行っており、身体面だけでなく心の問題にも対応しています。幼少期の生育環境、生活習慣の乱れは将来の心身の健康に大きく影響します。適切に電子メディアを利用し、十分な睡眠により生活リズムを整えることは、どの年齢層でも大切です。

●地域にとつてどんなクリニックを目指していますか？

患者さんやご家族が「まず、ここに相談したい」と思っていた地域のかかりつけ医を目指しています。必要に応じて専門医療機関へ適切に紹介したり、地域包括センターなど介護系職種とも密に連携していきます。県央基幹病院に救急対応や治療、検査をお願いする際には、適切なタイミングで十分な情報提供に努めます。一方、病状が安定した患者さんの病院からの受け入れや、在宅医療への移行には積極的に協力していきたいと思っています。



医療法人 佐藤内科小児科医院【内科・小児科】

〒959-0130新潟県燕市分水桜町2丁目4番21号
受付時間／午前9:00～12:00 午後15:00～18:00
TEL／0256-97-2355

アクセス／JR分水駅から徒歩2分
休診日／木曜、土曜の午後・日曜・祝日（第2、第4木曜は午前・午後とも休診）
HP／www.bunsui-satoclinic.jp/



	受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前	9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	
午後	15:00～18:00	●	●	●		●		

VOICE Q&A

ご利用者の皆さんからいただいたご意見・ご質問にお答えします。

Q ①

病院のイベント情報はどこで確認できますか？

当院では、地域のマルシェへの出店や、無印良品燕店での出張イベントなど、病院の外でもさまざまな活動を行っています。最新情報は公式SNS（Instagram、X）やホームページで発信しておりますので、ぜひフォローやチェックをお願いいたします。皆さまとお会いできるのを楽しみにしています！



Instagram



X (旧Twitter)



ホームページ



Q ②

入院中の様子をスマートフォンで撮影し、SNS（InstagramやXなど）に投稿してもいいですか？

院内での動画撮影やSNSへの投稿はお控えください。近年のSNSトラブル（例：医療画像の無断拡散など）により、患者さんの個人情報情報が漏洩し、深刻な被害を生んでいます。そのため、当院では患者さんやスタッフのプライバシーを守るため、動画撮影・投稿を禁止しています。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

無断の
撮影・録画・録音
禁止



当院では、患者さんや職員のプライバシー及び個人情報保護のため、院内で許可なく撮影や録画、録音などの行為、及びSNSなどへ投稿する行為を禁止しています。

済生会新潟県央基幹病院



済生会新潟県央基幹病院はご利用者の皆さまの声に対応しております。

済生会新潟県央基幹病院では、いただいたご意見をもとに、皆さまにより快くご利用いただける病院を目指し、日々改善を続けて参ります。お気づきの点がございましたら、1階エスカレーター前に設置されておりますご意見箱に、皆さまの声を ご投函ください。よろしくお願いいたします。



SAISEIKAI NIIGATA KENOH KIKAN HOSPITAL

01 REPORT

聴覚障がい者セミナーを開催しました



5月20日、当院と三条市社会福祉協議会とのコラボ企画として全職員対象の聴覚障がい者セミナーを開催しました。

聴覚障がいを持つ方は一見健常人とみられやすく、誤解を持たれやすいと言われています。さらにはお互いのコミュニケーションがとりづらく、医療の現場においては対応にしばしば難渋することがあります。そんな現場の声から、今回のセミナーを開催することになりました。

内容は手話をできるように、聴覚障がい者を知ること、目的としたセミナーにしたい。参加者は初めて知ったことも多く、驚いた様子もありました。医療に関わる人みんなが安心できる医療現場を作れるように、このようなセミナーを今後も続けていきたいと思っています。

02 NEWS

リリー・オンコロジー・オン・キャンパス展示会を開催しました



3月13日から4月3日まで「リリー・オンコロジー・オン・キャンパス」展示会を開催しました。

「リリー・オンコロジー・オン・キャンパス」とは、がん患者さんやそのご家族が、がんと共に生きる日々の想いや体験を絵画や写真、絵葉書で表現し共有するアートコンテストです。絵画・写真・絵葉書それぞれの部門の最優秀作品と優秀作品の計6作品を展示しました。

展示会に足を運んでくださった方からは「絵画だけでなく文章も一緒に読むと、すごく心が掴まれて涙ぐみそうになった。」「家族にがんを患っている方はいませんが、身近に感じる良い機会になりました。」「とお声をいただきました。

今後もこのような患者さんの想いを分かち合う「場」を作り、それを地域に発信していきたいと考えております。



済生会の「無料低額診療事業」のご案内

当院では社会福祉法に基づき、医療費の軽減・減免を行っております。療養生活において経済的な事情がございましたら、お気軽に患者サポートセンター(2階)窓口にお声掛けください。医療ソーシャルワーカーが対応いたします。

【お問合せ】患者サポートセンター

TEL.0256-47-4700 (代表)



トマト

「トマト」について

トマトは強い抗酸化作用を持つリコピンが豊富です。その他にもビタミンCやカリウム等も含まれ、免疫力アップやむくみ解消等の効果が期待できます。

旬の食材

夏の太陽を浴びて真っ赤に実るトマト。今回は今が旬のトマトについてご紹介します。

からだにおいしい

トマトに含まれる栄養素

【リコピン】
リコピンはトマトやスイカなどに含まれる赤色の天然色素で、カロテノイドという色素成分の一つです。活性酸素を除去する抗酸化作用が強く、生活習慣病予防や免疫力アップ、美肌効果等があります。脂溶性の栄養素のため、油と一緒に調理することで吸収率がアップします。

【ビタミンC】
ビタミンCは肌の弾力を保つコラーゲンの生成に欠かせない栄養素です。また、肌のシミを防ぐ働きもあるため、日焼けが気になる時期のケアに役立ちます。その他にも白血球の働きを助けることで免疫力を高め、風邪をひきにくい体作りや、疲労の回復をサポートする効果もあります。

【カリウム】
カリウムは体内の余分な塩分や水分の排出を助ける栄養素です。塩分の摂りすぎによる血圧の上昇を抑えたり、体のむくみを解消させる効果が期待できます。水

溶性の栄養素で水に溶けだしやすい性質のため、効率的に摂るには生や煮込み料理など、丸ごと摂れる調理法がおすすめです。

●選び方のポイント
トマトはハウス栽培の物が年中出回っていますが、夏に収穫される物は他の時期の物に比べて栄養素が多く含まれます。選ぶ際には

- ①ヘタが緑色でピンと立っている物
 - ②均一に赤くなっている物
 - ③丸みがありずっしりと重い物
- を選びましょう。おいしいトマトで栄養を摂り、暑い夏を乗り切りましょう！

監修：栄養部

「医療の窓」で、他にもお役立ち情報を発信中!



✓ ちょっと見直し!健康セルフチェック

(日々の生活の中でちょっと見直したい、健康のチェックリスト。是非ご自身に当てはめてチェックしてみてください。)



心臓のポンプ機能が低下して、十分な血液を送り出せなくなった状態を『心不全』といいます。進行を遅らせるためには、お薬などの治療と日頃の体調管理がとても大切です。このチェックシートは、心筋梗塞や不整脈、心臓弁膜症といった心臓の病気を持っている方が対象です。症状が続くときや不安なときは、早めに受診してくださいね。

済生会新潟県中央基幹病院
副院長 循環器内科
宮北靖 先生

気になる症状のある方は、早めにかかりつけ医にご相談ください

心不全チェックリスト

一つでも当てはまる方は要注意!

- ☐ 息切れや動悸がある
- ☐ 夜中に咳が出る、横になると息苦しくなり、座っている方が楽になる
- ☐ 1週間で合計2kg以上の急激な体重増加がある
- ☐ 手足が冷たい、疲れやすい、だるさを感じる
- ☐ かがみこんだり、お辞儀をした姿勢で苦しくなる
- ☐ 夜中に排尿のため起きることが多い、または回数が増えた
- ☐ 手足がむくむ、またはむくみが強くなった



〈今月号の表紙の写真について〉

青空にそびえる白とベージュの外観は、地域に寄り添う強さと優しさを象徴しています。館内
は地元の花や木をモチーフに、温もりある空間を目指しました。私たち職員もこの建物のよ
うに、地域の皆様に寄り添い、安心をお届けできる存在であるよう、日々努めてまいります。



社会福祉法人

恩賜
財団

済生会新潟県央基幹病院

〒955-0091 新潟県三条市上須頃5001番地1

TEL.0256-47-4700 FAX.0256-33-8808

<https://www.kenoh.saiseikai.or.jp/>

病院のサイトには
右記二次元コードより
アクセスしてください

